

学校法人鴨江寺学園

令和 7 年度鴨江幼稚園事業報告書

1 法人の概要

○ 建学の精神

本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、P T Aの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

○ 設立の経過

昭和 25 年 3 月 14 日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可

昭和 58 年 6 月 30 日 学校法人化への設置者変更申請

昭和 58 年 7 月 28 日 学校法人鴨江寺学園認可

平成 29 年 3 月 31 日 きなりこどもえん設置認可

現在に至る

○ 設置する学校

鴨江幼稚園

○ 園則定員

3才児 140 人 5クラス

4才児 140 人 4クラス

5才児 140 人 4クラス

420 人

○ 園児数の状況

(R7.5.1 現在)

3才児 65 人 4クラス

4才児 67 人 3クラス

5才児 69 人 3クラス

201 人

○ 役員・教職員の概要

理事	6 人
評議員	10 人
監事	2 人
教職員	30 人

2 事業の概要 (鴨江幼稚園)

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的・計画

<自主>	<自律>	<共生>
自分の力で考える。	自分自身を律し、感じる。	他と共に生き生きと活動できる。

人間の土台を育む年間カリキュラムを実践する。

<教育要領実施項目>

I 健康

1. 行動と充実感

・ 体育ローテーション・オブネット英語

2. 運動

・ 体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会

3. 健康・安全

・ 薄着・裸足の励行・防災避難訓練 (保健安全計画別途記)・交通安全教室

II 人間関係

1. 自分の力で行動する充実感

・ S I あそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び

2. 人とのかかわり

・ お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ

3. 社会性

・ 朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

Ⅲ 環 境

1. 自然とのふれあい
 - ・園外保育・遠足・芋の栽培、収穫・花壇・朝顔
2. 身近な環境に自分からかかわる
 - ・園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
 - ・じゃが芋蒸し・餅つき
3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
 - ・タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

Ⅳ 言 葉

1. 自分の気持ちを言葉で表現する
 - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
 - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
 - ・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

Ⅴ 表 現

1. 美しさに対する豊かな感性
 - ・絵画・BGM・MS・読詩
2. 自分なりに表現する
 - ・劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
 - ・ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

○ 令和7年度は、次の点の育成に重点をおいて事業に取り組んだ。

1. 園児
 - ・児に知識を与える。——→ 考える子どもに育てる。
 - ・園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。
 - ・全園児の年間第1目標達成率は99%であった。
2. 職 員
 - ・自ら考えて行動する教師になる。
 - ・自分自身に誇りを持つ。
 - ・語彙を増やす。
 - ・学年主任、学年会を中心とする。

○ 事業実施の概要は以下の通りである。

実施月	事業内容
4 月	・ 入園式 5 日（午前 10 時、2 階ホール） ・ 始業式 7 日 ・ 心電図検査 15 日(年中児) ・ 参観会年長 17.18、年中 21.22、年少 24.25
5 月	・ 内科検診 8.15 日 ・ 身体発育測定(隔月実施)
6 月	・ 参観会 2・5・12 日 ・ 青葉祭 15 日 ・ 歯科検診 19 日
7 月	・ 七夕会 7 日 ・ 年長観音山 24.25 日 ・ 終業式 18 日
8 月	・ 地藏盆踊り 22 日（午後 5：30～鴨江寺・園児） ・ 始業式 25 日
9 月	・ 防災訓練 1 日（園内・園児） ・ 参観会 27 ・ 日
10 月	・ 運動会 11 日（午前 9：00～・西小学校・） ・ 芋ほり 10/30 ・ 芋蒸かし 31 日
11 月	・ 幼児生活発表会 7 日
12 月	・ もちつき 3 日 ・ 個人面談 8～12 日 ・ クリスマス会 19 日 ・ 終業式 19 日
1 月	・ 交通教室年長 22 日 ・ 鴨江っ子まつり 29 日
2 月	・ 卒園遠足 9 日 ・ 節分 2 日 ・ 涅槃会 15 日 ・ 参観会 5.6・12.13・19.20 日
3 月	・ ひなまつり 2 日 ・ 卒園式 14 日（2 階ホール） ・ 修了式 13 日（2 階ホール）

○ 子どもの安全・健康対策

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| ・ 園児の健康管理 | — R7 年 5/8. 5/15. 6/19 内科・歯科検診実施 |
| ・ 部外者への侵入対策 | — R7/6 月・R8/1 月 防犯訓練実施 |
| ・ 園内での事故防止対策 | — 週 1 回 遊具総点検 |
| ・ 交通事故防止対策 | — R7 年 5/22. R8 年 1/22 交通安全教室実施 |

年間目標		ね ら い	反 省
		○生活に必要な身の回りのことが自らできるように、基本的生活習慣を身につける。 ○共感や共有する体験を通し、友だちとの関わり方を知っていく。	・令和7年度は満3歳のクラスが1クラスで12月まで各月入園があった。クラスの状態が不安であったが、在園児の状態が良く協力してくれたため、良い状態を保つことができた。 ・子どもたちが自ら取り組む積極性を持ち、安定した生活を送れたのは家庭の協力があったこそだと改めて感じた。
指導内容の視点	健康	○出来る範囲内の身の回りの始末などを行いながら生活する上で必要な習慣を身に付ける。 ○ホールや園庭で体を動かす事を楽しむ。 ○手洗い・うがいが身につくようにする。	・入園当初は身の回りのことはできないこともあったが、「自分でやろう」という意欲があり援助をしながら行っていくことで生活習慣が身に付いていった。 ・一年を通して外遊びを楽しむことができた。三学期にはルールのある集団遊びにも喜んで参加した。 ・うがいは上手にできるようになった。
	人間関係	○気の合った友だちでき、友だちと過ごす楽しさや仲間と一緒にいる喜びを味わう。 ○集団遊びの中で簡単なルールを理解する。	・一学期は保育者との遊びを楽しむ姿が多かったが、二学期以降子ども同士で遊びを展開できるようになった。 ・かくれんぼやしっぽとり鬼ごっこなどの集団遊びも個人差はあるものの、ルールを理解し楽しんだ。 ・トラブルもあったが、経験としてトラブルから学ぶことができた。
	環境	○外気や草花に触れることにより、自然を感じ取る。 ○保育者と絵本を読んだり、自分で好きな絵本を選んで見ていく中で、文字に興味を持つ。	・気候の良い時には散歩にも出かけられた。草花や虫に興味があり、怖がらずに触ろうとする逞しい姿もあった。 ・絵本は個人持ちのものだけでなく、毎日2～3冊は読み聞かせをするよう心掛けた。文字への興味には個人差があるが、文字を読める子も増えてきた。
	言葉	○日常の挨拶への、親しみをもつ。 ○言葉でのやりとりを楽しみ、会話の中でいろいろな言葉を使おうとする。 ○周囲への関心や注意力・観察力が伸び、自分で思ったことなどを言葉で伝えようとする。	・毎日の挨拶はどの子とも目を合わせてきちんとすることを心掛けた。 ・言葉が多く出る子たちなので会話もはずんだ。子ども同士で教えあったり、保育者とも日常の会話ができたりとよいコミュニケーションがとれていると感じる。 ・自分の思いをきちんと言葉にして伝えることができていた。反面、トラブルも起き易かった。問題を解決することは難しく、保育者の介入が必要である。
	表現	○音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、リズムに合わせて楽器で遊ぶ。 ○異年齢児との関わりの中で、様々な表現の仕方を身に付ける。	・様々な手遊びうたに親しみ、リズム遊びにも触れることができた。タンバリンやカスタネットなどの楽器で楽しく遊ぶことができた。 ・音楽に合わせて全身を使って表現することを楽しんだ。 ・鴨江っこまつりの準備を通して年長児の優しさに触れることができ、憧れの気持ちも育ったと思う。
保護者支援		○生活習慣については、子どもが出来ることや自らやろうとしている意欲を共有し、喜び合うとともに、家庭でも根気強く自立に向けて協力してもらおう。 ○子ども一人一人の発達課題も共有し、育ちの見通しが立つようにする。	・身辺自立はどの子も「自分でやろう」という意欲があり、「できた」という達成感を味わえていた。家庭できちんと教えて伝えてくれていることが、子ども達の様子から分かった。 ・園でも見守るところ、手伝うところを状態を見極めながら援助することができた。 ・一年間、保護者の方には快く協力していただき、とてもありがたかった。保護者と同じ方向を向いて子どもの成長に寄り添えたのではないかなと思う。 ・園と家庭とで情報を共有していく機会が多く取れたことが良かった。保護者との関わりが子の成長へと繋がると思うので大切にしていきたい。

年間目標		ね ら い	反 省
		○喜んで登園し、友だちや保育者に親しみを持つ。 ○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。 ○遊具や玩具に興味を持ち、好きな遊びを十分に楽しむ。	・入園当初は保護者と離れ不安そうな様子があったが、二カ月経つと園に慣れて楽しく通えるようになり、登園を渋る様子は減った。 ・園生活の流れだけでなく、活動する時のルールや約束事も覚え、子ども同士で確認し合う姿も見られた。 ・一人遊びから友だちとの遊びへと変わり、友だちとの関わりを十分楽しむことができた。
指導内容の視点	健康	○自分でできる事は自分で行い、自信を持って過ごす。 ○全身を使って自然や様々なものと関わったり、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。	・身の回りのことを含め、自分のことは自分で行おうとする姿が見られた。3学期には自信を持って生活できるようになった。 ・散歩に出掛け、季節の変化を感じ取ることができた。 ・2学期後半には集団あそびのルールを分かるようになり、3学期には自ら集団あそびに参加し楽しめるようになった。
	人間関係	○友だちとの遊びの中で、園生活のルールを身につける。 ○友だちや保育者など、身近な人への関心を深め共に過ごす楽しさを味わう。	・順番を守ることは早くから意識できていた。おもちゃの貸し借りはうまく伝えられず、トラブルになることも多かった。保育者が介入し互いの思いを伝えるようにした。 ・クラスの友だちとの結びつきは強かった。コミュニケーションも増えたが、それ故に揉めたりする姿があった。 ・異年齢での活動を通して年長児への憧れを抱く様子があった。
	環境	○戸外に出て、自然に触れたり、十分に体を動かして遊びを楽しむ。 ○身近にあるものに興味を示し、遊びに取り入れようとする。	・戸外での遊びは十分に楽しめた。自分の好きなこと、やりたいことを見つけることができたようになった。 ・落ち葉や木の実に触れることはできたが、それらを製作に取り入れられたら良かったと思う。
	言葉	○自分の気持ちや困っている事等を、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。 ○相手の話を聞き理解し、自分の思いも伝えることができる。	・自分の気持ちを言葉で伝えようとする姿は見られたが、個人差があり泣く、怒るなどで表現する子もいた。子の気持ちに寄り添いながらの援助を心掛けた。 ・保育者の話を最後まで聞くことはよくできるようになった。 ・自分の気持ちを伝えることはできても相手の気持ちを理解することまでは難しい様子であった。
	表現	○様々な体験の中で、感動したことを伝え合う喜びを感じる。 ○感じたことや考えたこと、経験したことなどを音や動きなどで表現したり、描いたり、扱ったり、形を作ったりすることを楽しむ。	・発表会等の行事の後には達成感を感じ、皆で喜ぶことができた。 ・楽しいことを伝え合うだけでなく、転んでしまった子を気遣う言葉や困っている子を応援する言葉を掛けられるようになった。 ・音楽に合わせて身体を動かすことは楽しめていた。経験したことを描き表すことは難しいようだった。粘土で形を作り上げていくことは上手になった。
保護者支援		○保護者が安心して園児を送り出せるよう、お便りカードやクラスだよりにて園の様子を伝え、信頼関係を築いていく。 ○行事等への取り組みの様子やねらいをわかりやすく伝え、子どもの成長との関係性を理解してもらう。また、家庭からのサポートもお願いする。	・お便りカードやクラスだよりをなるべく具体的に書き、クラスや個々の様子を伝えるようにした。初めてお子さんを預ける方も多いので、不安や心配に思われていることに対しては電話をしたり、すぐに答えるようにできたのは良かった。 ・行事では保護者の協力を得られた。行事においていつもと違う姿が予想されるお子さんについては、事前に保護者に伝え、サポートをお願いした。事前に伝えてはいたものの、いつも通りの姿を見せてあげたかったという気持ちが残っている。 ・子の様子を伝えることはどのクラスも意識していたため、できていたと思うが、子育ての相談相手としては足りなかったと思う。

年間目標		ね ら い	反 省
		○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ○健康的な生活習慣が身に付いていく。 ○戸外で体を動かし、ルールのある遊び・季節感のある遊びを楽しむ。	・最初は年少時の友だちと遊ぶことも多かったが、様々な活動を通してクラスの仲が深まると新しい友だちと遊べるようになっていった。 ・冬の寒さが厳しい中でも身体を動かして遊ぶことができた。 ・1学期はルールを理解することが難しかった集団遊びも3学期にはルールを理解し、クラスや学年全体で楽しむことができた。
指導内容の視点	健康	○クラス全員で運動遊びに取り組む中で、目標に向かって頑張ろうとする。 ○全身運動のバランスがとれ、大人と同じように複雑な運動や様々な遊具や用具を取り入れて遊ぶことができる。	・2学期には跳び箱や鉄棒、3学期には縄跳びに興味が出て「できるようになりたい」と練習をする子が増えた。保育者の指導がうまくいかないこともあったので、効果的な指導の方法を考えていきたい。 ・身体のバランスは個人差があるものの、その子なりに身体を動かそうとしていた。また、4月に比べると複雑な運動ができるようになったと感じる。
	人間関係	○好きな遊びを見つけ、保育者や友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○友だちのよさに気付いたり、相手を受け入れたりしながら、友だちと一緒に活動する。	・保育者や友だちとしばしば鬼ごっこを楽しむ姿があった。慣れてくると子どもだけでも遊びを楽しめるようになった。 ・年度当初は自分が中心な姿が多かった。行事を通してクラスの結びつきが深まると友だちへの思いやりが持てるようになった。 ・友だちとの喧嘩はあったが成長過程として必要なことと捉えて対処することができた。
	環境	○いろいろな素材や自然物で製作をする。 ○行事を心待ちにし、喜んで参加する。 ○草木や風の様子等に気付き、自然の変化を感じ取ったり、冬の自然事象に興味・関心を持つ。	・春にはダンゴムシやミミズを探す様子が見られた。 ・カブを種まきから行い育て、収穫し食べた。実際に目で見て体験したことが貴重だったと感じる。 ・落ち葉を使つての製作をしたことで、葉っぱの質感を改めて感じる良い機会となった。
	言葉	○紙芝居や絵本などを見たり聞いたりして、言葉の面白さに興味を持つとともに、友だちや保育者と言葉を交わしながら、想像してイメージを広げ、表現して楽しむ。	・語彙数が増え、会話の内容が深まってきたと感じる。友だちと共通の認識で会話を楽しみ遊べる子が増えた。 ・1年を通して平仮名の読み書きができるようになった。個人持ちの絵本が好きで興味を持って読めていた。
	表現	○身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。 ○言葉を主体とした共通のイメージを持って遊び、工夫しながら遊びを展開する。	・廃材を使つての製作や様々な技法を用いての絵画活動を楽しむことができた。 ・イメージしたことを言葉では表現できても、絵に表すことは難しかった。 ・発表会で劇を行い、3学期にもう一度劇あそびをした。2回目の劇あそびでは「こうしたい」という意見がよく出るようになった。その意見が受け入れられる喜び、クラスで劇を作り上げる楽しさを感じることもできた。
保護者支援		○基本的な生活習慣や態度、遊び方、友だち関係などの日常生活について発信し、成長への期待の支えとなるよう関わり、保護者と共に考える。また共に成長の喜びを共有する。 ○子ども同士のトラブルは、発達の自然な姿であることを知らせ、理解や協力を求めていく。	・おたよりカードやクラスだよりを有効的に活用し、保護者に子どもの様子を伝えることは意識してできたと感じる。 ・保護者が園に出入りする回数が多い家庭とは直接お話しできたが、バス通園の方との直接のコミュニケーションが取りづらかった。 ・保護者の相談に乗ることはできたが、どう返事をしたらいいのか迷うことが多かった。 ・子ども同士のトラブルは成長の過程で必要なことを保育者が理解し、保護者にも伝えることができた。理解してくださる方が多い一方、伝えたいことが伝わらない方もいて難しさを感じた。

年間目標		ね ら い	反 省
		○新しい環境に慣れ、主体的に遊びに関わると同時に、友だちのつながりを楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、意欲的に園生活を送る。	・毎日の生活や様々な行事を通してクラスがまとまり、友だちがいるから頑張れるという姿が見られた。各クラスとも、友だちと協力することや諦めない気持ちの大切さを学んだ一年であった。 ・園内で一番年上になったという自覚が芽生え、年下の子が困っていると優しく声を掛けることができていた。
指導内容の視点	健康	○自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○十分に体を動かし、全身を動かして遊ぶ満足感を味わう。	・手洗いうがいや水分補給など、自分の体調に気を付けることができた。 ・基本的には戸外で身体を動かして遊ぶことを好む子が多かったが、クラスによっては砂遊びなどの静の遊びを好む様子もあった。 ・クラスや学年でドッジボールやリレー、鬼ごっこを取り入れていくことで、3学期には身体を動かして遊ぶ楽しさをどの子も味わうことができた。
	人間関係	○遊びの中での意見や感情の行き違いの中で、相手の気持ちや考えを分かろうとする。 ○仲間と協働しながら、遊びを持続し発展させ、共通の目的を持ち創意工夫しながら満足いくまでやり遂げようとする。	・自分の気持ちを伝えることは年度当初からできていたが、相手の気持ちに気付くことが難しかった。クラスでの話し合いを多くしたり、保育者が仲介しながらそれぞれの思いに気づかせていくことで、自分の思いだけを主張する姿は少なくなった。 ・気の合う友だちができると、遊びや生活の中でもそれぞれが役割を持つようになった。共通の目的を持ち、そこに向かっていく姿は多く見られた。
	環境	○活動や経験を通して、見通しを立てる力が育ち、進んで環境に関わろうとする。 ○身近に起こる自然事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり、調べたりする。	・運動会の練習で伝えてきたことが身に付き、その後の生活や行事の中で見通しを持って活動に参加できるようになった。しかし、個人差はあり、見通しを立てることが苦手な子もいた。 ・リードできる子が周りを引っ張っていく姿があった。 ・畑のじゃがいもの生長を見たり、園内の植物に関心が持てるように心掛けた。絵本などでも自然について紹介していった。
	言葉	○生活の中の言葉や文字・記号に関心を持ち、自分達の表現したいことを伝える手段として取り入れて使う。 ○友だちの主張にも耳を傾け、共感したり意見を言う中で、自分の主張を譲ったり協働していく。	・自分の気持ちを言葉で伝えられるようになり、その思いを文として書き表すことができるようになった。 ・自分の意見を主張するだけでなく、友だちの意見に共感したり、意見が分かれた時はどちらがいいかを考えたりもっといい考えがないかを話し合えるようになった。思いやりの心が育ち、相手の意見を受け止められる姿が増えた。
	表現	○共有するイメージを持って、遊びの中で役割を持ち協働しながら遊びを展開し、試行錯誤しながら満足いくまで遊ぶ。	・自分のイメージをしっかり持っている子とそうでない子の差はあったが、クラスでの認識は近いものを持っていたと思う。かもえっこまつりではイメージが共有しやすく、協力して作り上げていくことを楽しめた。 ・3学期に学年でドッジボールに取り組んだ。その中でどうしたら勝てるかを考えて声をかけられるようになった。子どもたちが夢中になる姿が見られた。
保護者支援		○クラスの運営方針を伝え、一緒に子育てを楽しめるように言葉かけをする。 ○子どもが試行錯誤しながら成長していく様子を伝え温かく見守りながら励ますことの大切さを理解してもらう。 ○就学に向けての保護者の対し、小学校の様子や情報を知らせ、安心してもらう。	・クラスの方針や日々の出来事はクラスだよりやおたよりで伝えることができた。 ・行事での子どもの姿を見ていただき、保護者と共に子どもの成長を喜ぶことができた。 ・保護者に保育の意図や保育者の気持ちを伝えることで、家庭でできることへの協力をお願いしやすかった。 ・就学に向けて身近の自立は各家庭でも意識して行ってくれていた。その他のことに対しては保育者自身が小学校の情報を得られず、保護者に対して知らせることができなかった。 小学校の情報収集、小学校との連携をどうしていくかがこれからの課題である。

令和7(2025)年度 学校法人鴨江寺学園鴨江幼稚園の教育活動に関する自己評価並びに学校関係者評価委員の意見

令和8年3月31日

学)鴨江寺学園理事長

建部仁洋

学校関係者評価委員議長

吉澤俊道

○ 自己評価及び学校関係者評価

評価分類		評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
			園としての反省・分析・改善点	評価	委員会の意見	評価
保育性の計画	①園の教育理念の理解	園の教育理念や教育方針に共感し、その内容を十分理解している。	指導計画・並びに教育環境には十分配慮し教育理念に対しては理解が深まっている。しかし教師間での話し合いが不十分である。	A	園の教育方針に沿って先生方は一所懸命に教育をしている。意識が高い先生が多い。	A
	②指導計画の作成	幼稚園教育要領、教育方針、課程、園児の実態等を配慮して作成している。				
	③環境構成	指導計画を基に、意欲的かつ主体的に活動できる環境を構成している。				
	④計画の評価・反省	自分の保育と計画を評価・反省し、話し合い、次の保育に役立てている。				
保育の在り方	①健康と安全への配慮	朝幼児の健康管理には十分に配慮し、安全性や清潔さにも配慮している。	各教師の意識は高く、子ども一人ひとりに対して寄り添い傾聴することができている。ただし個別対応が難しいケースも多くなっている。	A	関わりが必要な子どもも増えている中で一人一人に寄り添っている。先生同士の連携を深めることが重要である。	A
	②個の理解	幼児を理解し、あるがままを受け止めるとともに、指導目標を明確にしている。				
	③幼児との関わり	傾聴・共感・受容・認証・奨励のかかわりを大切にしている。				
	④教師同士の連携	教師全員が幼児について理解し、互いに連携しあうことを大切にしている。				
教師としての資質・能力・適正	①良識とマナー	教師らしい品位のある言葉を心掛けている。	教師として保育を園児と一緒に楽しく出来ている。子供の前に立つ大人として見本となれるよう心がけている。	A	先生としての品格は十分備わっている。今以上に邁進してほしい。	B
	②職務上の守秘義務	職務上知り得た情報などの秘密を守る。重要書類等を持ち出さない。				
	③保育の楽しみ・喜び	生活を創り出すことを楽しく思い、幼児の成長を理解し喜ぶことができる。				
	④状況を感じる感性	幼児教育の情報を捉え、自然や社会の出来事にも関心を持つ。				
保護者への対応	①情報の発信	クラスようす、自分の保育観、ポイントなどを知らせている。	手紙や参観会SNS等で保護者との関りは多く持つようにしている。保護者に対して公正公平に接するようしているが難しい面が多い。	A	手紙SNS等での情報発信に注力している。また保護者の相談などに時間を割いていることがわかる。	A
	②個への対応	個々の幼児について必要に応じて情報を発信したり受信したりしている。				
	③保護者や幼児への対応	保護者や幼児と公平に接し、教師としての節度をもって適切に対応している。				
	④相談などへの対処	相談等に話を聞き、主任や園長に報告・連絡・相談し、適切に対処している。				
地域との関わり	①子育て支援への関心	園が地域の子育て支援センターの役割を有していることを理解している。	地域とのかかわりがあり持っていない。また幼少連携の面でも機会を持つことがなかなかできていない。	B	地域との関るカリキュラムが必要なかもしれない。また幼少連携についても同様である。	B
	②小学校との連携	スムーズに小学校へ進学できるよう、小学校の教育内容を理解している。				
	③人々への関わり	地域の人々と親しく挨拶を交わしている。				
	④地域への関わり	地域の自然や施設の場所、交通機関、主な行事等について把握している。				
研修と研究	①研修・研究意欲	研修や研究の必要性を認識し、自己課題をもって参加している。	研修の機会は多くあるが、積極的に参加する教師があまり多くない。子どものためだけでなく自分を高めるための意識改革が必要である。	B	研修受ける機会は設けられている。しかし働き方改革などで時間外に積極的自己研鑽を積む意識が薄くなっている。	B
	②教師としての研究	幼児のみとりと内面を理解し、指導と関わりについて研修・研究を行っている。				
	③遊具・教材	園の遊具や教材について、特徴や扱い方、利用方法を研究している。				
	④自らを高める	保育関係の他に、趣味、読書、芸術等、教養を深める努力をしている。				
総合評価	保護者アンケート	先生たちはよくやってもらっている。PTA活動が活発であるが園児が減っている中十分な活動ができていない。	総合的考察	昨年と同様に幼稚園として努力をしているのがよくわかる。しかし時代の流れとして園児減少の中、園児獲得等の為にも今以上の情報発信や質の向上など全方向にしていけないと、園児減少に歯止めがきかない。		

学校法人 鴨江寺学園

令和 7 年度 きなりこどもえん事業報告書

1 法人の概要

○ 建学の精神

本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、P T Aの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

○ 設立の経過

昭和 25 年 3 月 14 日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可
昭和 58 年 6 月 30 日 学校法人化への設置者変更申請
昭和 58 年 7 月 28 日 学校法人鴨江寺学園認可
平成 29 年 3 月 31 日 学校法人鴨江寺学園幼保連携型認定
きなりこどもえん 設置認可
現在に至る

○ 設置する学校

きなりこどもえん

○ 園則定員

0才児	9人	1クラス
1才児	15人	1クラス
2才児	24人	1クラス
3才児	24人	1クラス
4才児	24人	1クラス
5才児	24人	1クラス
120人		

○ 園児数

0才児	6人	1クラス
1才児	18人	1クラス
2才児	24人	1クラス

3才児	24人	1クラス
4才児	24人	1クラス
5才児	24人	1クラス
	120人	

○ 役員・教職員の概要

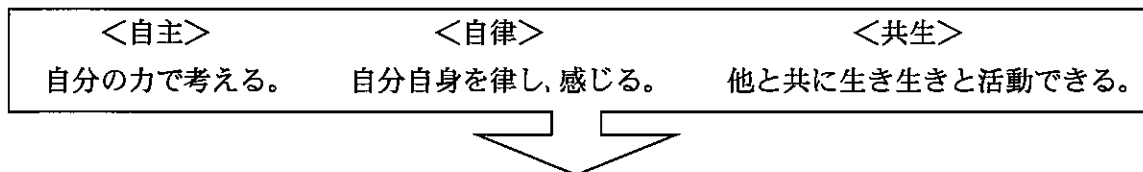
理事	6人
評議員	10人
監事	2人
教職員	37人

2 事業の概要

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的



人間の土台を育む年間カリキュラムを実践

○ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にした。

○ 子どもの安全対策

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ・園児の健康管理 | － R7年4月5月・6月・11月 内科・歯科検診実施 |
| ・部外者への侵入対策 | － R8年1月 防犯訓練実施 |
| ・園内での事故防止対策 | － 月1回 遊具総点検 |
| ・交通事故防止対策 | － R7年6月 ・R8年2月 交通安全教室実施 |
| ・施設設備の点検 | － 電気・エレベーター隔月点検委託実施
月初め施設設備自主点検実施 |
| ・地震対策 | － R7年5・9・10・12 R8.3月 地震避難訓練実施 |
| ・火災予防対策 | － R7年4・7・8・11 R8.2月 火災避難訓練実施 |

＜教育要領実施項目＞

- I 健康
 - 1. 行動と充実感
 - ・体育ローテーション・オブネット英語
 - 2. 運動
 - ・マラソン・コスモスポーツ・運動会
 - 3. 健康・安全
 - ・薄着の励行・防災避難訓練・交通安全教室・インフルエンザ感染予防
- II 人間関係
 - 1. 自分の力で行動する充実感
 - ・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
 - 2. 人とのかかわり
 - ・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・ヒッポ
 - 3. 社会性
 - ・朝礼・基礎活動・給食当番
- III 環境
 - 1. 自然とのふれあい
 - ・園外保育・遠足・花壇・朝顔、野菜の栽培
 - 2. 身近な環境に自分からかかわる
 - ・園内遊び・七夕・餅つき・クリスマス・節分・クッキング
 - 3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
 - ・モンテ・かるた
- IV 言葉
 - 1. 自分の気持ちを言葉で表現する
 - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
 - 2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
 - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
 - 3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる

・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

V 表 現

1. 美しさに対する豊かな感性

・絵画・BGM・読詩

2. 自分なりに表現する

・劇遊び・リトミック・絵画制作・発表会

3. イメージを豊かにし表現を楽しむ

・エポック・リトミック・発表会

以 上

令和8年4月6日

学校法人鴨江寺学園
きなりこどもえん
園長 建部 真貴子

令和7年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子
学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	今年度は4名の新卒者を迎えた。社会人としての少しずつマナーを覚えてもらいたい。今後の教職員同士の連携と協調性を保育に活かしてもらいたい。	A	職員は来客や保護者に明るくあいさつもできていて全体の印象がよい。	A
保護者への対応	個人情報適正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報の取り扱いに遵守できている。保護者への挨拶や声掛けはもちろん、区別や差別をしない徹底し信頼関係を保つようにしている。	A	保護者に対しては小さなことでも親身になり、公平に対応をしているのが見受けられる。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができているか。	R7年度も就学に向けて地域の小学校での接続を行っている。公民館まつりの作品の展示や消防署との消火訓練などを通じて連携をしている。	B	地域との交流の難しいなか、できる限り参加している。地域の住民のご意見に対しても真摯に受け止めて動いている。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができているか。	最近では市主催、キャリアアップ研修、ルピロ研修など計画的に参加できるようになった。不足部分は定期的に園内研修を行っている。	B	研修や園内研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めている。学んだ内容を職員間で共有し、園全体の意識向上につなげている。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができているか。	子どもたち一人ひとりの安全や衛生面を考慮しながら、乳幼児の発達や特性を理解し、幼児教育や保育の質の向上につなげている。	A	子どもたち一人ひとりの発達や安全面に配慮し、専門性を生かした保育に努めている。今後もより充実した保育内容となるよう期待したい。	A
総 合		昨年度は、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添った保育を心掛け、安心して過ごせる環境づくりに努めました。保護者との連携も深まり、成長を感じる一年となりました。	B	職員同士の連携を大切にしながら、安全で安心できる保育環境づくりに努め、地域や保護者との信頼関係も深めている。	A

令和7年度 きなりこどもえん 一年の反省

令和8年3月31日

<空組>

- ・担当との信頼関係を築いたあとには、担当以外の保育士との関わる場面も作ったことで、どの職員でも食事の介助や午睡の入眠など関わることができた。安心して過ごせる環境を整えたのち、個に応じて自分でやりたい思いを受け止め、身の回りの事を自分でできるよう環境を整えた。おんぶ紐は、事故に繋がる可能性もあるため、関わり方についてその都度話しあい対応した。保護者とは、成長段階で困り感を共有し共感することで安心して向き合えるよう対応した。献立の未確認が多く細かく伝えていった。

<空I組>

- ・自分でやりたいという思いを大切に基本的な生活習慣が習得できるように見守り援助した。5人の保育士で丁寧に関わることもできた。個人のロッカーでオムツを出す際、子どもによっては背が低く届かない子もいたため、個に応じて環境を設定すべきであった。呼名する際に「はい」と返事をするように促すことで、いただきますやごちそうさま等言語の取得に繋がった。

<光組>

- ・トイレトレーニングは、家庭と連携し個の成長に応じて進めていった。保護者と送迎時に対話する機会を設けることで成長に寄り添うこともできた。成長に不安を感じやすい年齢であるため、面談や対話を通じて保護者の不安を共有することができた。身辺自立してからは、遊びの中で友だちとの関わりや言語の習得ができるように取り入れた。

<星組>

- ・登園した際には、保護者と一緒に保育室で身支度をしてから離れるという流れをを作ることによって安心して園生活を送ることができた。一方で、身支度を子どもがやるのではなく保護者がしてしまうことも多かったためその都度声を掛け、子どもが自発的に行えるように協力してもらった。友だちや担任に自分の思いを言葉で伝えられる子が増えた。一方的に主張していたが、相手の思いを聞こうとするようになりつつある。

<虹組>

- ・一年を通して絵本から遊びに発展させたり、保育で行ったことを自由遊びの時に繰り返し遊び込めるように環境を整えたりすることで、自発的に遊びを進められるようになった。自分の思いを伝える際、口調が強くなったり自己を通そうとしたりする姿が見られたが、徐々に友だちの思いや考えを受け入れたり、友だちの困難に寄り添ったりするようになってきた。

<月組>

- ・就学へ向けて人の話を聞こうとする、自発的に取り組もうとする意識が高められるように意識した。支援が必要な園児が多いこともあり、保育がスムーズに進められなかった。その中でも行事等の活動を通し集団を意識したり共有する喜びを味わえたりした。交通ルールの理解が乏しく歩行も危険な子が多かったため、就学へ向けて親子で歩行への意識を高めることが年長組には重要かもしれない。

<その他>

- ・本年度は、4名の新卒職員を迎え入れたことで、組織として新たな体制づくりができた。少子化の進行や保育ニーズ、保護者の価値観就労状況の多様化により園への要望も多岐にわたっており、より丁寧な説明と合意形成が求められると感じる。

資金収支計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	113,400,000	113,910,891	△ 510,891
手数料収入	30,000	30,000	0
寄付金収入	0	633,600	△ 633,600
補助金収入	213,196,000	247,718,546	△ 34,522,546
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	30,220,000	32,943,462	△ 2,723,462
受取利息・配当金収入	470,000	768,872	△ 298,872
雑収入	5,980,000	7,039,472	△ 1,059,472
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	780,000	960,000	△ 180,000
その他の収入	33,956,748	34,935,509	△ 978,761
資金収入調整勘定	△ 820,000	△ 30,049,659	29,229,659
前年度繰越支払資金	775,890,931	775,890,931	
収入の部合計	1,173,103,679	1,184,781,624	△ 11,677,945

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	288,390,000	277,938,793	10,451,207
経費支出	98,160,000	84,233,576	13,926,424
借入金等利息支出	2,000,000	1,831,787	168,213
借入金等返済支出	110,010,000	110,008,000	2,000
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	3,000,000	164,400	2,835,600
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	10,246,526	9,746,526	500,000
(予備費)	(100,000) 1,900,000		1,900,000
資金支出調整勘定	△ 4,540,000	△ 8,443,846	3,903,846
翌年度繰越支払金	663,937,153	709,302,388	△ 45,365,235
支出の部合計	1,173,103,679	1,184,781,624	△ 11,677,945

資 金 収 支 内 訳 表

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
学生生徒等納付金収入	0	77,111,017	36,799,874	113,910,891
手数料収入	0	0	30,000	30,000
寄付金収入	0	633,600	0	633,600
補助金収入	0	50,396,000	197,322,546	247,718,546
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	31,161,922	1,781,540	32,943,462
受取利息・配当金収入	0	576,326	192,546	768,872
雑収入	0	5,490,350	1,549,122	7,039,472
借入金等収入	0	0	0	0
計	0	165,369,215	237,675,628	403,044,843

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
人件費支出	0	124,214,456	153,724,337	277,938,793
経費支出	104,200	53,058,497	31,070,879	84,233,576
借入金等利息支出	0	0	1,831,787	1,831,787
借入金等返済支出	0	0	110,008,000	110,008,000
施設関係支出	0	0	0	0
設備関係支出	0	164,400	0	164,400
計	104,200	177,437,353	296,635,003	474,176,556

事業活動収支計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	113,400,000	113,910,891	△ 510,891
	手数料	30,000	30,000	0
	寄付金	0	633,600	△ 633,600
	経常費等補助金	213,196,000	247,718,546	△ 34,522,546
	付随事業収入	30,220,000	32,943,462	△ 2,723,462
	雑収入	5,980,000	7,039,472	△ 1,059,472
	教育活動収入計	362,826,000	402,275,971	△ 39,449,971
	事業活動支出の部			
	人件費	289,720,000	279,220,094	10,499,906
	経費	132,160,000	116,515,666	15,644,334
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	421,880,000	395,735,760	26,144,240
教育活動収支差額		△ 59,054,000	6,540,211	△ 65,594,211
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	470,000	768,872	△ 298,872
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	470,000	768,872	△ 298,872
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	2,000,000	1,831,787	168,213
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	2,000,000	1,831,787	168,213
教育活動外収支差額		△ 1,530,000	△ 1,062,915	△ 467,085
経常収支差額		△ 60,584,000	5,477,296	△ 66,061,296
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	300,000	154,003	145,997
	その他の特別支出	10,020,000	9,943,849	76,151
	特別支出計	10,320,000	10,097,852	222,148
特別収支差額		△ 10,320,000	△ 10,097,852	△ 222,148
(予備費)		(300,000) 1,700,000		1,700,000
基本金組入前当年度収支差額		△ 72,604,000	△ 4,620,556	△ 67,983,444
基本金組入額合計		△ 112,810,000	△ 109,447,000	△ 3,363,000
当年度収支差額		△ 185,414,000	△ 114,067,556	△ 71,346,444
前年度繰越収支差額		287,473,452	287,473,452	0
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		102,059,452	173,405,896	△ 71,346,444
(参考)				
事業活動収入計		363,296,000	403,044,843	△ 39,748,843
事業活動支出計		435,900,000	407,665,399	28,234,601

事業活動収支内訳表

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	0	77,111,017	36,799,874	113,910,891
		手数料	0	0	30,000	30,000
		寄付金	0	633,600	0	633,600
		経常費等補助金	0	50,396,000	197,322,546	247,718,546
		付随事業収入	0	31,161,922	1,781,540	32,943,462
		雑収入	0	5,490,350	1,549,122	7,039,472
		教育活動収入計	0	164,792,889	237,483,082	402,275,971
	事業活動支出の部	人件費	0	124,417,316	154,802,778	279,220,094
		経費	104,200	62,350,735	54,060,731	116,515,666
		徴収不能額等	0	0	0	0
		教育活動支出計	104,200	186,768,051	208,863,509	395,735,760
	教育活動収支差額		△ 104,200	△ 21,975,162	28,619,573	6,540,211
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	576,326	192,546
その他の教育活動外収入			0	0	0	0
教育活動外収入計			0	576,326	192,546	768,872
事業活動支出の部		借入金等利息	0	0	1,831,787	1,831,787
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	1,831,787	1,831,787
教育活動外収支差額		0	576,326	△ 1,639,241	△ 1,062,915	
経常収支差額		△ 104,200	△ 21,398,836	26,980,332	5,477,296	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0	0
		特別収入計	0	0	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	154,003	0	154,003
		その他の特別支出	0	5,611,540	4,332,309	9,943,849
		特別支出計	0	5,765,543	4,332,309	10,097,852
	特別収支差額		0	△ 5,765,543	△ 4,332,309	△ 10,097,852
基本金組入前当年度収支差額		△ 104,200	△ 27,164,379	22,648,023	△ 4,620,556	
基本金組入額合計		0	561,000	△ 110,008,000	△ 109,447,000	
当年度収支差額		△ 104,200	△ 26,603,379	△ 87,359,977	△ 114,067,556	

(参考)

事業活動収入計	0	165,369,215	237,675,628	403,044,843
事業活動支出計	104,200	192,533,594	215,027,605	407,665,399

貸借対照表

令和8年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
固定資産	682,520,427	716,143,120	△ 33,622,693
有形固定資産	674,126,872	706,468,280	△ 32,341,408
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	8,393,555	9,674,840	△ 1,281,285
流動資産	738,941,564	809,176,782	△ 70,235,218
資産の部合計	1,421,461,991	1,525,319,902	△ 103,857,911
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
固定負債	107,426,000	217,434,000	△ 110,008,000
流動負債	35,039,694	24,269,049	10,770,645
負債の部合計	142,465,694	241,703,049	△ 99,237,355
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
基本金	1,105,590,401	996,143,401	109,447,000
第1号基本金	1,105,590,401	996,143,401	109,447,000
繰越収支差額	173,405,896	287,473,452	△ 114,067,556
純資産の部合計	1,278,996,297	1,283,616,853	△ 4,620,556
負債及び純資産の部合計	1,421,461,991	1,525,319,902	△ 103,857,911

財産目録 令和8年3月31日

科目	年度末
基本財産計	679,047,923
運用財産計	742,414,068
財産の部合計	1,421,461,991
固定負債計	107,426,000
流動負債計	35,039,694
負債の部合計	142,465,694

令和 7 年度監査報告書

令和 8 年 5 月 25 日

学校法人 鴨江寺学園

理事会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事

家近 快泉 

監事

鈴木 昭演 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いものと認めました。

只、幼稚園の経営については少子化対策、教職員の補充、教員の意識改革等の課題に取り組んでいかなければ、現状のままでは将来の経営状況が懸念される。きなりこどもえんの経営状況は今のところ比較的安定していると思われる。

以 上

令和 7 年度監査報告書

令和 8 年 5 月 25 日

学校法人 鴨江寺学園

評議員会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 家近 快泉 印

監事 鈴木 昭彦 印

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

只、幼稚園の経営については少子化対策、教職員の補充、教員の意識改革等の課題に取り組んでいかなければ、現状のままでは将来の経営状況が懸念される。きなりこどもえんの経営状況は今のところ比較的安定していると思われる。

以 上